

②3 高齢者や子ども等の田舎生活を豊かにする、 通院・買い物・お遣いなどの暮らしサポート

メンバー

実施者 : 三成郷づくりの会

連携団体 : 三沢小さな拠点づくりの会、NPO法人 とともに、
奥出雲町（地域づくり推進課）、島根県（地域振興部しまね暮らし推進課）、
（株）エブリプラン、奥出雲町（健康福祉課）、奥出雲交通（株）、
町立奥出雲病院、仁多ショッピングセンターサンクス、佐白温泉・長者の湯、
社会福祉協議会

活動目的

三成郷づくりの会が母体となり、三成地区及び三成地区に隣接する三沢地区内を
運行するデマンド交通を運行させることにより、両地区の高齢者や子ども、障がい者を
中心とした暮らしのサポートを行うことで、明るく住みよい郷づくりを目指す。

対象地域 : 島根県仁多郡奥出雲町三成、三沢
人口 : 2,660人



取り組み内容

キーワード : 公共交通空白地帯／交通支援／自家用車の活用／レンタカー活用／予約システム開発／情報共有／タクシーとの共存

- ①デマンド交通のニーズ調査：三所地区をモデル地区に設定し、住民ヒアリング計67件を行い需要を把握した。
- ②デマンド交通の運行：2020年10月6日から三所、三沢、高尾の3地区にて3ヵ月で29回実施し、
のべ129人の利用があった。主に高齢者の買い物機会の拡充の成果が得られた。
- ③健康娯楽パッケージの開発：連携団体と協力しパッケージメニューが完成。86名の参加があった。
- ④シャトルバス運行：三成文化祭で運行した。具体的な経路・時間・便数の把握の必要性を認識した。

2020年度の活動実績

デマンド交通の運行：10月6日から三所、三沢、高尾の3地区にて3ヵ月で29回実施した。のべ129人の利用があり、
当初の見込み以上であった。買い物機会の拡充、高齢者の健康維持・活性化の促進などが得られた。



取り組みが地域に与えた影響

- ・デマンド交通は利用登録85人、のべ129人の利用があった。
- ・23名のボランティアドライバーの登録があった。
- ・デマンド交通の利用者アンケートの結果、「とても助かる」との意見が多く、満足との回答が96%となった。
- ・交通支援によってコミュニケーションを楽しむ機会も生まれた。利用者同士、または利用者と事業の協力者である
ドライバーとの会話も楽しみの一つとなった。
- ・垣根を越えたつながり構築。交通支援のシステムを住民主導でつくるために、地区、世代、立場を越えた新たなつながりが
生まれた。例えば三成と三沢の地区の連携、利用者と運営サイド、ドライバーの世代間交流、タクシー事業者、スーパー、
病院、行政、運営サイドの立場を越えた連携など。

取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

- ・自治会と連携することで、ドライバーと利用者増につながった。
- ・管理システムを構築し、ドライバーやオペレーターが情報共有して運行を実施できたことは今後につながる仕組みとなった。
- ・タクシー事業者や運輸局との協議を早い段階で行い、三方良しの仕組みづくりを構築するべき。

専門家コメント グローバル交流推進機構

企画から実証運行まで、若手の皆様も含めた地域住民の活動で成し遂げた取り組みです。それゆえに、運行コストなどについても抑えられて、当初計画と比較すると、継続可能なものとなりました。今後はタクシー事業者など地域の関係者も巻き込んで、地域全体にとってのメリットを示しながら、関係者の協力のもとで継続できる仕組みをどう作り上げていくかが重要になります。